

四谷地区協議会だより

No.

11

第11号

平成26年11月発行



—ぼいす—
Voice

信濃町界限

誕生して120年 JR信濃町駅

10

11

12



10

11

17

四谷第六小学校

神宮の森へ

三光町界限

15

16

17



花園神社本殿

ゴールデン街風景

四季の道界限

めざせ530
(ごみゼロ)



詳しくは4,5頁の特集をご覧ください。

こんにちは町会長さん！...



皆様のまちの町会長さんに、わが町の魅力を語っていただきます。

今回は**信濃町**と**三光町**です。

(ご紹介する町会は町会連合会で随時決定されています)

Q1 地域の名物・名所、ご自慢をお教えください！

信濃町町会

JR信濃町駅が誕生して平成二十六年十月九日で百二十年になります（東京駅の百年より古い）。それを記念して、四谷第六小学校児童と共に祝いのイベントを開催しました。

三光町町会

何ととっても町会の中心に花園神社が鎮座しておいでです。「三光」とは鎮守花園神社の別名、三光院稲荷（別当寺が三光院であったため）からとったものです。

Q2 とっておきのお話や人気行事、面白ごぼれ話を教えてください！

信濃町町会

八月の第一金、土曜日に第二十九回信濃町ふるさと盆踊りを開催しました。今年は約四千五百人の参加があり、屋台、子供のゲーム等楽しく過ごしました。

三光町町会

もちつき大会、節分福袋、お祭り、盆踊りなど、町内の皆さんが喜んでくれるたくさん行事があります。

Q3 その他貴町会のPRなど、ご自由にご記入ください！

信濃町町会

十一月に第十五回防災訓練を慶應病院で開催します。また、信濃町コミュニティをたち上げ、毎日数回、安心安全をモットーに町内巡回を心がけています。

三光町町会

花園神社の西の市は大変な賑わいで、地域のみならず他地区からも多くの人々が集まります。皆様もぜひ出掛けてみてください。



慶應義塾大学病院



花園神社 節分の様子

平成 26 年度 四谷地区協議会全体会

去る 5 月 22 日（木）四谷地域センターに於いて四谷地区協議会全体会が開催されました。松川会長の挨拶にはじまり、平成 25 年度の事業報告及び会計報告、平成 26 年度の活動計画及び予算案がそれぞれ承認されました。その後各分科会に分かれ、今後の活動方針などが話し合われました。これからも地域、諸団体の皆様と連携しながら、来年の改選に向け活動して参ります。

平成 26 年度 四谷地区協議会まちづくり活動計画

	事業名	(内訳)
第 1 分科会	まちづくりを考える (地域課題・歴史・文化・自治・観光まちづくり)	(1) 四谷お宝さがし (2) 地域勉強会 (3) 観光まちづくり
第 2 分科会	健康で安心なコミュニティづくりを考える (子ども・高齢者・健康)	(1) 四谷子ども見守り隊 四谷 ワンワン子ども見守り隊 (2) 子育て応援事業・多世代交流事業 (3) シニア健康講座 (四谷ひろば・スポーツ交流会協働)
第 3 分科会	生活環境・まち美化を考える (みどり・環境・リサイクル)	(1) 四谷花いっぱい運動 (2) 内藤とうがらしの育成 (3) 地域の窓口
課題別 P T	防災・地域安全	救命救急講習会・危機管理関連講演会
広報	四谷地区協議会の広報	四谷地区協議会広報誌作成

四谷地区スポーツ交流推進委員会活動報告

四谷地区協議会主催の体操教室も、各々の会場を一巡し、シニア世代の皆さんの健康づくりのお手伝いに一役かっています。今回は、この活動に協力して下さっている連携団体の、四谷地区スポーツ交流推進委員会（四谷スポッコ）からの活動報告をご紹介します。



「四谷地区スポーツ交流推進委員会」の愛称は「四谷スポッコ」です。

誰もが生涯にわたって、より身近な四谷の地域でスポーツに親しみ、健康的な生活をおくるための活動を開始して今年で12年目を迎えます。メンバーは新宿区スポーツ推進委員、四谷地区の小・中学校PTAのOB、スポーツ愛好家等で構成されています。

主な活動は、土曜日に各小学校でPTAの皆さんと協働して、タグラグビー、ショートテニス、卓球、ユニカール等スポーツの楽しさを広める事を目標としています。

交流会で子供たちと関わり、その成長を見守って行く事は地域に住む私達としての務めであり、大きな喜びでもありと感じています。そして、平成20年度から四谷地区協議会等との

協働によるシニア健康体操教室「転ばぬ先のストレッチ教室」が円滑に運営されるよう、その中心となって取り組んでいます。「年齢と共に低下する筋力を維持・向上させ、より元気に楽しく過ごすの場を自宅近くに作る」と現在8カ所、日・月曜日以外は何処かでストレッチ教室が開かれており、魅力的な講師たちによって各会場で生き生きとした活動が行われています。毎年春と秋に体力測定を行い、各自の成果をチェックしています。「個」としては無理な活動でも、同じ目的を持つ「個」が集まって協力し合い、手を携えて行く事で不可能から大きな可能性を生み出す事ができます。

四谷地域の「強い絆」がより良い明日の四谷を作り出してくれるものと信じ、「四谷スポッコ」は活動を続けて参ります。



新宿地域交流館



本塩町地域交流館



若葉教室



四谷ひろば



平成26年度 四谷地区協議会主催 健康体操年間予定表

会場名	開催日	受付時間	体操時間	参加費
四谷ひろば	毎週火曜日	9時45分～10時	10時～11時	1回200円
		四谷ひろばでは、初回の受講に際し「大人のサロン」入会金（1年間有効500円）が別途必要となります。入会後は「大人のサロン」の他の講座の受講も可能です。		
★信濃町シニア活動館	毎週火曜日	9時45分～10時	10時～11時	1回200円
若葉地区（ライトコート四谷）	毎週水曜日	9時45分～10時	10時～11時	1回200円
霞ヶ丘町会集会所	第1・3木曜日	10時15分～10時30分	10時30分～11時30分	無料
★本塩町地域交流館	毎週金曜日	9時45分～10時	10時～11時	1回200円
四谷中学校・花園小学校	※土曜日	9時45分～10時	10時～11時	無料
★新宿地域交流館	第1・3火曜日	9時45分～10時	10時00分～11時30分 体操＋講義 体によいお話の時間があります	1回200円
	第2・4木曜日	10時15分～10時30分	10時30分～11時30分	

★印の地域交流館、シニア活動館の会場にご参加の方は、初回到各館の利用登録（無料）が必要です。身分証明証（健康保険証等）をご持参ください。

※花園小学校・四谷中学校会場は、学校と協議の上約3ヶ月ごとに会場が決定されます。開催日については必ず事務局にご確認ください。

▶お問い合わせ 四谷地区協議会事務局 四谷特別出張所内（新宿区内藤町87）（電話）03-3354-6171



四谷清掃協会 四谷リサイクルフェア

特集

めざせ四谷530!!



～ごみ問題、地域の取り組み～

地域の取り組みを見せて、関心を持ってもらう

「四谷清掃協会」の活動もそのひとつです。各町会から選出された住人がメンバーとなり、10月の「四谷リサイクルフェア」の開催や、子ども向けのごみ施設見学会、ごみゼロ運動への参加など、ごみの減量化やリサイクルの適正化を目指した活動をおこなっています。

「住民ひとりひとりにごみへの関心を持ってもらい、きれいな街作りにつなげることが目的。そのためにはまず、私たちが小さな活動をコツコツおこない、それを見せることが啓発につながると思っています」(四谷清掃協会会長・宮内長吉さん)

新宿区が収集したごみの総量は年間約75,000トン(平成24年度)。大型ダンプ7,500台に匹敵する、大量のごみが毎年捨てられています。こうしたごみをできるだけ減らし、街を美しく保つのは地域の重要課題のひとつです。四谷地区のごみ収集を担当する新宿東清掃センター所長の大塚智司さんも話します。
「ごみ集積所の管理など、ごみの収集には地域の協力が欠かせません。とくに四谷地区は歴史ある町を大切にしている住人の方が多く、ごみ問題に取り組む地域の活動も活発です。大変ありがたいことですね」そのような主な地域の取り組みを紹介します。

こんな対策 しています。 町会アンケート

ほかにも多くの町会が、さまざまな方法でごみ問題に取り組んでいます。そこで今回は四谷地区の各町会にアンケートを実施。ごみをめぐる地域の困りごとや解決策をうかがいました。
まず「困りごと」として、もっとも多かったのが「収集日でないときに住人がごみを出し、カラスなどにあらされる」「新聞、雑誌、段ボールなどの資源回収ごみが、一般の可燃ごみに捨てられている」といった、ごみ出しや分別に関するマナーでした。

これに対し各町会も「収集日が来るまで、自宅の庭に置いておく」「一般ごみの集積所に資源回収ごみを見つけたときは、収集日まで町会の集積所に保管しておく」など頭を悩ませているところも少なくありません。また「チラシや掲示板、回覧版などで住民にルールを知らせた結果、ごみ出しのルール違反がなくなった」など、根気強く周知を徹底することで、町のごみ問題を解決した町会もありました。

その他の声

困りごと

- 「捨てられた空き缶などが液漏れして、夏場は悪臭が問題に」
- 「引っ越しで出た大きなごみを、分別せずに置いていく人がある」
- 「収集日でないときに捨てられたごみに放火があった」

解決策

- 「ブルーネットでカラスから防御」
- 「ルールが守られず、住民のクレームが絶えない集積所は、区の清掃事務所等に相談して廃止してもらう」
- 「ルールを守らないごみ袋に『持ち帰ってください』という張り紙をする。それでも持ち帰ってもらえないものは、自宅に保管」

地域総出でごみを拾う「ごみゼロ運動」を開催

「ごみゼロ運動」は、地域の取り組みとして知られるイベントです。平成13年、四谷中学開校をきっかけに四谷地区協議会が旗振り役となって始まり、年2回、各町会や清掃協会、四谷中学校、四谷小学校、そして新宿区や近隣企業などが参加して、一斉に植え込みや歩道を清掃しています。平成26年春のごみゼロ運動には250人以上が参加するなど、地域とごみを考える大きなイベントに育っています。



子供達もみんなで街をきれいに!!

リサイクル化を推進する、自主回収も

新宿区では平成27年4月から、「資源ごみの収集方法を変更して、資源化率のさらなる向上を目指していく」(前出・大塚所長)計画も発表されています。
一方、地域もごみ資源化の取り組みをおこなっています。町会の「集団回収」です。これは町会や集合住宅などの団体ごとにご紙・びん・缶などの資源を回収し、直接回収業者と契約して引き渡す自主的な資源回収のこと。四谷地区でも多くの町会がこの集団回収をおこなっています。

たとえばそのひとつ、愛住町会では、町会長自らがトラックで各家庭を回り、資源ごみを回収。「12年前に始めた当初はわずかな量だった資源ごみも、長年にわたり役員に呼びかけたり、回覧板で町会員の方々に周知し徐々に量が増えました。現在では安定的にかなりの量が集まるようになり、収益金は周年行事の記念品の購入や防災対策、災害基金などに当てています」(愛住町町会長・渡邊成幸さん)

平成27年4月から資源ごみの回収方法が変わります

資源ごみの回収拠点方式は、既存のごみ集積所で収集する方式に変更。これまで区内約3600箇所だった資源ごみの回収場所が、約1万9600箇所に増えることになり、資源ごみの分別徹底と家庭ごみの削減を目指します。

雑学 ①
もっとも良質なリサイクル原料になると言われる資源ごみは？
牛乳パックです。再生紙を使わず、木材をそのまま加工したバージンパルプが使われているため、さまざまなものにリサイクルが可能です。たとえば1リットル入りの牛乳パック30枚で、トイレットペーパー5個、ティッシュペーパー3〜4箱に再生することができます。

雑学 ②
なかなか減らない家庭ごみ。いったい中には、何が入っている？
家庭ごみの約60%は、包装ごみといわれています。なかでもレジ袋は1年間に300億枚がごみに。国民1人1人が毎日1枚ずつのレジ袋を捨てていることとなります。つまり過剰包装を断ったり、エコバッグを持ってレジ袋を断ることで、大量の家庭ごみの削減が見込めるのです。

雑学 ③
「世界一清潔」という呼び声も高かった江戸。ごみはどう処理されていた？
着古した着物、紙ごみ、ろうそくの燃え残りなど、それぞれの廃棄物は専門の業者が買い取り、再び製品に再生するというリサイクル社会が実現していたといわれます。たとえば手紙の書き損じなどの紙ごみは業者が再び水でふやかして紙に漉いていたため、墨の色が残り、再生紙は灰色をしていたといえます。

待機高齢者とは…?

様々な疑問について聞きました



もみの樹園(仮称) 完成予想図

声

保育園などに入れない「待機児童」が問題になっています。その一方、特別養護老人ホームに入れず入所申込みしている高齢者は全国に52万人が待機し、中でも「要介護3〜5」の中重度の人が34万5千人を超えます。現在65歳以上の人口は全国に3,296万人います。この待機高齢者の状況について、新宿区役所福祉部と四谷高齢者総合相談センターに伺いました。

Q1

新宿区の待機高齢者は?

A 特別養護老人ホームの入所対象者も介護を必要とし、ご自宅で介護を受けることが困難な方です。待機高齢者とは、特別養護老人ホームに入所申込みしている人のことです。

新宿区を通して申し込みができる特別養護老人ホームは、区内に7カ所(定員480床)、区外に23カ所(定員

502床)の合計982床で、新宿区にはこれとほぼ同数の996人(平成26年8月31日現在)の待機高齢者がいます。

Q2

待機高齢者が多い理由は?

A 平成23年度に新宿区が行った調査では、「長く待っている人が有利らしい」と云った入所の仕組みの誤解や、「早めに申し込んでおかないと、いざというとき入所できないらしい」と云った将来への不安から、すぐには入所する意思がない方も入所申込みをしていることが分かりました。このほか、有料老人ホームなどの施設と比べて費用が抑えられることも人気の理由の一つといえます。

新宿区の待機高齢者のうち、毎年およそ200人の方が特別養護老人ホームに入所しており、平成22年に1,334人を記録した待機高齢者は、近年減少傾向にあります。

Q3

四谷地区の現状はどうですか?

A 四谷高齢者総合相談センターの所長にお伺いしました。「入所申し込

みは、区本庁舎や担当地区以外の高齢者総合相談センターでも受け付けているため、四谷地区全体の申請者は把握していませんが、当センターでは年間60〜80件の申請を受け付けています。

◆四谷地区内の10月1日現在人口は36,684人、内65歳以上の高齢者は7,851人、21.4%の高齢化率を示しています。

Q4

新宿区の取り組みは?

A 新宿区では、「在宅で介護」を推奨しています。介護を一人で抱えないために、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう介護保険サービスと共に、介護保険外サービスとして、配食サービス、理美容サービスなどや火災安全システム、杖の支給、また、各出張所での車椅子の貸し出しなど様々な支援をしています。

また制度改正により、特別養護老人ホームに新たに入所する方は、平成27年度から原則要介護3〜5に限定されます。

そのため、在宅で生活を続けられるよう、新宿区では以下の支援を行っています。高齢者事業係では介護をできるだけ

受けずに、自立した生活を続けるための「介護予防教室」を実施しています。高齢者に低下しがちな、筋力、口腔機能、栄養状態の改善等に取り組んでいます。また地域密着型サービスとして、24時間対応の訪問介護、夜間専用の訪問介護、施設への「通い」、自宅に来てもらう「訪問」、施設への「泊まり」サービス等を一括した小規模多機能型在宅介護。そして看護と組み合わせた複合型サービスがあります。

◆詳しくは、

新宿区役所福祉部

〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1(2階)

高齢者福祉課高齢者支援係

☎03-5253-4305

介護保険課推進係

☎03-5273-4212

高齢者福祉課高齢者事業係

☎03-5273-4568

新宿区四谷高齢者総合相談センター

〒160-0008

新宿区三栄町25番地

四谷保健センター複合施設4階

☎03-5367-6770



ご相談ください

平成27年6月には

下落合駅前に定員130床の特別養護老人ホーム「もみの樹園(仮称)」がオープンします。詳細は、11月15日号の広報「しんじゅく」をごらんください。

四谷観光まちづくりを ご一緒に考えてみませんか

四谷地区協議会では地域の皆様と、まちづくりを「観光」の視点から捉え、「自らのまち、四谷地域を見直す」「地域の人による親しみを感じられる案内がある」、このような観光まち歩きを実現しようと考えています。

地域の歴史に詳しい方、ガイドをしてみたい方、興味のある方は、是非ご参加下さい！

今後の「まち歩き」の予定

テーマ	日程
四谷三丁目界隈の美術館・博物館を巡る ～文化の香りを身近に感じる～	終了しました
内藤新宿まち歩き～宿場町の趣きを訪ねて～	11月15日(土)
信濃町駅界隈散策と神宮外苑いちようまつり ～小さい秋を見つけて～	12月6日(土)
南寺町を訪ねて ～四谷ゆかりの古の人にふれる～	3月7日(土)
外堀の桜鑑賞と四谷見附界隈を歩く ～春の外堀 桜の世界を体感～	4月4日(土)
甲州街道と歴史博物館を訪ねて ～四谷の今と昔のお話～	5月9日(土)

※概ね1か月前より広報しんじゅく、地域掲示板等でご案内致します
問い合わせ先：四谷地区協議会事務局
電話 03-3354-6171



私達の街ってどんなまち？

四谷花いっぱい運動

6月上旬に、四谷地域の3つの小学校で「花いっぱい運動」を行いました。昨年まで毎年活動していた四谷小学校、四谷第六小学校に、今年から花園小学校が新たに加わりました。

3～4年生の子どもたちと地域の方々、赤、白、ピンク色のペゴニアの苗を植え付け、学校や四谷地域を華やかに飾っています。子供たちは土に触れることをとても楽しんでいる様子で、笑顔でいっぱいの活動となりました。

植え付けだけでなく、後片付けや掃除を率先してやっている子供たちを見て、とても頼もしく思いました。

四谷のあちこちで、この運動のかわいい花々を見ることが出来ます♪



花園小学校にて 笑顔と花がいっぱい！

よんこれん 四子連の冊子が 出来ました！

<四谷地区乳幼児支援機関関係者連絡会> 通称：四子連

四谷地域の乳幼児支援機関の連携を深め、乳幼児保護者にPRするとともにその方たちの地域デビューを応援します。



事務局：〒160-0012
新宿区南元町4 二葉乳児院 2階
地域子育て支援センター二葉
TEL. 03-5363-2170

四谷地区協議会主催 第7回「地域を識る勉強会」

～四谷の歴史の記憶をさぐる～

9月27日、四谷地域センターに於いて四谷地区協議会主催の勉強会が開かれました。今回で第7回となる地域で学ぶ「四谷学」です。

語り部としてご登場いただいたのは、甚野公平さんと坂部健さんのお二人です。甚野さんは、霞ヶ丘町に生まれ育ち、兄弟だけで結成した野球チーム「ジンノーズ」が少年漫画のモデルになったこと、その甚野さんが見てきた学徒出陣から、東京オリンピック、そして建て替えが決まった現在までの国立競技場等の思い出を、お持ちの写真とともにお話しいただきました。

もう一人、四谷四丁目の町会長でもある坂部さんは、幕末から明治にかけて活躍した山岡鉄舟の書などのコレクター、研究者として知られています。鉄舟が江戸城の無血開城に関わり明治天皇に仕えた時の秘話、四谷に暮らし現在の新宿御苑の苑長を務めたことがあるなど、四谷との縁が深かったその生涯を語っていただきました。



懐かしい話に耳を傾ける皆さん

四谷のお宝さがし

～秘話・こぼれ話をご紹介～



今日も店先で、店主の仕事を見守る クリーニング店の 古いアイロン

「アイロン」の語源は「アイアン(鉄)」——そんな雑学がうなずけるような、とあるお宝が、今年3月に開かれた「四谷のお宝さがし発表会」に出品されました。多くの人が「なつかしい!」と声をあげたのは、クリーニング店を営む辻清一さんのお宝、古い鉄のアイロンです。

辻さんがクリーニング店で働き始めたのは昭和37年。そのころ店で使っていたのが、このアイロンでした。電気式ではあるものの、温度調整は「強」と「弱」の2種類のみ。それも、鉄の板を挿したり抜いたりすることで強弱を切り替える原始的な仕組みのアイロンでした。

そんなアイロンの表面温度を口先で湿らせた指先でたしかめ、一人前のアイロンがけができるようになるまで、数年の修行が必要だったそうです。

「新しい繊維の服が持ち込まれるたび、温度をたしかめながら、おそるおそるアイロンをかけていたことが思い出されます。そうそう、夏はしたたる汗が落ちて、よくアイロンをジュッとさせていましたね」

今は「ロボットのような」ハイテクアイロンがクリーニング店のアイロンがけをしてくれる時代に。もう使われなくなったこのアイロンは、辻さんのクリーニング店「ショーエイクリーニング」のシンボルとして、店先で辻さんの仕事ぶりを見守っています。

「このアイロンは私の仕事の原点。使わなくなったあとも、どうしても捨てることができませんでした。クリーニング店の仕事もずいぶんハイテク化しましたが、あのころの心意気を忘れないように、今もときどきアイロンを眺めているんですよ」

手に取るとずっしりと重いそのアイロンには、辻さんの仕事の誇りが詰まっています。



◆なつかしい! 古い鉄のアイロン



◆鉄の板を抜き差ししてスイッチを切り替える



お宝発表会告知

今年も「四谷のお宝さがし」に出品するお宝を募集しています。次回の発表会は平成27年2月の予定。代々伝わる家宝から、昔の写真、そして忘れられない思い出まで、誰かが大切にしているものは、すべてが四谷のお宝です。締め切りは11月末日。四谷地区協議会四谷お宝さがし実行委員会までご応募ください。

編集後記

◆「ごみ問題」では、ひとり一人の意識が不可欠と再認識しました。「暗い所は犯罪が起き、汚い所はごみがたまる」。3R運動を賢く実行しましょう。◆教えて地区協のページで学んだように、明日は我が身として、介護についての知識を新たにして対応しましょう。◆今年度から前任の高橋伴美さんに代って生田玲子さんが就任してくれました。誠実で優しい笑顔、行動力のある女性です。
編集委員会リーダー 野澤秀雄

編集・発行 四谷地区協議会【事務局】(四谷特別出張所内)

〒160-8581 新宿区内藤町87番地
電話 03-3354-6171 FAX. 03-3350-9403
E-mail: yotsuya@city.shinjuku.lg.jp

次号は平成27年3月発行予定です。

4月に四谷地区コミュニティ推進員に就任いたしました、生田玲子と申します。四谷の皆様には様々な地域の魅力を教えていただき、毎日がとても新鮮です。今後ともご指導、ご鞭撻をお願いいたします。



ひとこと

3月で退任されたコミュニティ推進員 高橋伴美さんには、7年間ご尽力頂き、おつかれ様、そしてありがとうございました。